

動物感染症学 I

(授業概要)

伴侶動物の感染症のみならず、多様な動物における重要な感染症まで広く理解し、その対応に付き認識を十分に深める。また、感染症に対し、正しい知識に基づき適切な対応が出来るように、理解と技術を身に付ける。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	70

目標

1 学期

感染症学を学ぶ目的と修学領域、各種病原体の解説、微生物検査法など感染症学の総論部分について十分に学習し、感染症学を学ぶ意義を理解する。

2 学期

各分野の代表的感染症について、その特徴や診断法、治療法などを深く学習する。臨床現場で大きな位置を占める感染症に関する基本的知識を植え付ける。

授業計画

前期

- 1回 感染症学序章
- 2回 細菌学総論 (1) (細菌の分類)
- 3回 細菌学総論 (2) (細菌の構造、細菌の遺伝子)
- 4回 細菌学総論 (3) (細菌の感染と発症)
- 5回 細菌学総論 (4) (細菌の増殖と代謝)
- 6回 ウィルス学総論 (1) (ウィルスの構造、増殖と感染)
- 7回 ウィルス学総論 (ウィルスの分類)
- 8回 真菌学総論 (真菌の分類、構造、感染)
- 9回 プリオン総論 (プリオンの構造と感染)
- 10回 微生物検査 (1) (バイオハザードとバイオセーフティ)
- 11回 微生物検査 (2) (消毒と滅菌)
- 12回 微生物検査 (3) (細菌検査法)
- 13回 微生物検査 (4) (ウィルス検査法)
- 14回 微生物検査法 (5) (真菌検査法と薬剤感受性試験)
- 15回 寄生虫学 (1) (総論 1)
- 16回 寄生虫学 (2) (総論 2)

後期

- 17回 寄生虫学（3）（原虫類1）
- 18回 前期試験
- 19回 前期試験返却・解答
- 20回 寄生虫学（4）（原虫類2）
- 21回 寄生虫学（5）（蠕虫類1）
- 22回 寄生虫学（6）（蠕虫類2）
- 23回 寄生虫学（7）（衛生動物・その他）
- 24回 感染症学各論（1）（イヌ・ネコの感染症1）
- 25回 感染症学各論（2）（イヌ・ネコの感染症2）
- 26回 感染症学各論（3）（産業動物の感染症1）
- 27回 感染症学各論（4）（産業動物の感染症2）
- 28回 感染症学各論（5）（実験動物の感染症1）
- 29回 感染症学各論（6）（実験動物の感染症2）
- 30回 感染症学各論（7）（エキゾチックペットの感染症）
- 31回 免疫（1）
- 32回 免疫（2）
- 33回 免疫（3）
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却・解答

授業の方法

自作のテキストによる講義。

教材

特になし。学校推薦の参考書程度。

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

実務経験と授業科目の関係

あり

公衆衛生学 II

(授業概要)

基本的には公衆衛生学 I の続きとなる。食品衛生の後半と環境衛生及び動物愛護、院内衛生に関する基本処置などについて学習する。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	35

目標

1 学期

公衆衛生学 I の続きとなる食品衛生の後半と環境衛生を学ぶ。どちらも最近ことに世界中で注目されている項目であるため、国家試験においても重視される可能性が高い。知っておくべき基本部分を、確実に習得しておく必要がある。

2 学期

環境問題に絡めて、今日の社会における動物に関わる諸問題について学習する。また、病院内衛生に関して、実技面からアプローチしていく。

授業計画

1回 環境衛生とは

2回 地球規模の環境衛生 (1)

3回 地球規模の環境衛生 (2)

4回 地球規模の環境衛生 (3)

5回 水の衛生 (1)

6回 水の衛生 (2)

7回 水の衛生 (3)

8回 生活環境問題 (1)

9回 生活環境問題 (2)

10回 生活環境問題 (3)

11回 廃棄物問題 (1)

12回 廃棄物問題 (2)

13回 廃棄物問題 (3)

14回 衛生動物

15回

16回

17回



予備日

18回 前期試験

19回 前期試験返却・解答

20回

21回

22回

23回

24回

25回

26回

補足講義、復習講義

27回

予備日（または、試験問題対策講義）

28回

*「解剖・生理学Ⅱ」との置き換え有り。

29回

30回

31回

32回

33回

34回 後期試験

35回 後期試験返却・解答

授業の方法

自作のテキストによる講義。

教材

特になし。学校推薦の参考書程度。

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

実務経験と授業科目の関係

獣医師会の立場から行政と共働で、食中毒と環境衛生問題に長く関わった実績を持つ。

動物解剖・生理学Ⅱ

(授業概要)

1年次の動物解剖生理学Ⅰをさらに発展させ、組織学分野の知識習得、さらには各系統の疾患をモデルに解剖学及び生理学の臨床的応用を検討する。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

1学期

神経系、感覚器、内分泌系について、「まとめ」と組織学的考察、疾病モデルによる形態と機能の解析を行う。

2学期

呼吸器、循環器、消化器、泌尿器、運動器、血液について、「まとめ」と組織学的考察、疾病モデルによる形態と機能の解析を行う。

授業計画

前期

- 1回 消化器(1)
- 2回 消化器系(2)
- 3回 消化器系(3)
- 4回 泌尿器系(1)
- 5回 泌尿器系(2)
- 6回 泌尿器系(3)
- 7回 生殖器系(1)
- 8回 生殖器系(2)
- 9回 生殖器系(3)
- 10回 運動器・骨格系(1)
- 11回 運動器・骨格系(2)
- 12回 運動器・骨格系(3)
- 13回 運動器・骨格系(4)

14回 上皮組織

15回 腺組織

16回 肝臓(1)

後期

17回 肝臓(2)

18回 前期試験

19回 前期試験返却・解答

20回 臍臓

21回 組織学（1）

22回 組織学（2）

23回 組織学（3）

24回 組織学（4）

25回 組織学（5）

26回

27回

28回

29回

解剖生理学Ⅰ・Ⅱ

30回

復習、補足、トレーニング 等

31回

32回

33回

34回 後期試験

35回 後期試験返却・解答

授業の方法

自作のテキストによる講義。

教材

特になし。学校推薦の参考書程度。

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

実務経験と授業科目の関係

あり

検査学

(授業概要)

病院勤務においてはルーチンである臨床検査に関する知識と技術について学ぶ。検査はいわば診断治療の「切り口」であり、ここでまず正しい判断が為されなければ後の診療にも狂いが生じる。従って、知識面においても技術面においても十分な裁量が必要とされるため、その基本をまず着実に習得することが重要である。

科	動物看護師学科	教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位数	35

目標

1学期

血液検査に関する知識と技術について学習する。臨床現場において日常最も多く実施される検査であるため十分に時間を使って確実に習得する。

2学期

その他の臨床検査について学ぶと同時に、実際の症例データから各疾患の特徴や予後を診断する訓練を行う。

授業計画

- 1回 バイタルサインと全身検査（1）
- 2回 バイタルサインと全身検査（2）
- 3回 臨床検査の基礎
- 4回 血液検査（1）（血液の基礎知識1）
- 5回 血液検査（2）（血液の基礎知識2）
- 6回 血液検査（3）（血液の基礎知識3）
- 7回 血液検査（4）（CBC検査・貧血）
- 8回 血液検査（5）（貧血に関する検査）
- 9回 血液検査（6）（凝固障害・骨髄障害に関する検査）
- 10回 血液生化学検査（1）（総論・血漿蛋白・肝機能）
- 11回 血液生化学検査（2）（肝臓・膵臓・腎臓）
- 12回 血液生化学検査（3）（血中脂肪その他）
- 13回 血液生化学検査（4）（血液ガス分析・免疫学的検査）
- 14回 尿検査（1）（検体採取法・検体の処置）
- 15回 尿検査（検査手順・尿沈渣の分析）
- 16回 尿検査（尿沈渣の分析）
- 17回 糞便検査（手技と検体の取り扱い）

18回	前期試験
19回	前期試験返却・解答
20回	糞便検査（観察と分析）
21回	糞便検査（その他の検査法）
22回	細胞診検査と病理組織検査（1）
23回	細胞診検査と病理組織検査（2）
24回	遺伝子検査（1）
25回	遺伝子検査（2）
26回	復習、補足、トレーニング (または予備日)
27回	
28回	
29回	
30回	
31回	
32回	
33回	
34回	後期試験
35回	後期試験返却・解答

授業の方法

自作のテキストによる講義。

教材

特になし。学校推薦の参考書程度。

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

授業だけでは時間の制約から十分ではないので、参考書や過去問などを用いて復習を充実させる。

実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学Ⅱ

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

目標

1学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

2学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、についても理解を深める。

授業計画

- 1回 授業について エマージェンシーとは
- 2回 状態確認の方法
- 3回 応急処置 出血
- 4回 応急処置 出血
- 5回 応急処置 やけど
- 6回 応急処置 やけど
- 7回 応急処置 熱中症
- 8回 応急処置 熱中症
- 9回 応急処置 ショック
- 10回 応急処置 ショック
- 11回 応急処置 骨折
- 12回 応急処置 骨折
- 13回 実習
- 14回 実習
- 15回 応急処置 眼球突出

16回	前期試験
17回	前期試験返却
18回	応急処置 眼球突出
19回	応急処置 眼球突出
20回	応急処置 けいれん発作
21回	応急処置 けいれん発作
22回	応急処置 感電
23回	応急処置 感電
24回	応急処置 窒息
25回	応急処置 窒息
26回	応急処置 中毒 誤食
27回	応急処置 中毒 誤食
28回	グリーフケア
29回	グリーフケア
30回	老齢動物の飼育管理
31回	老齢動物の飼育管理
32回	安楽死 エンゼルケア
33回	安楽死 エンゼルケア
34回	後期試験
35回	後期試験返却

授業の方法

座学、グループワーク

教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物

評価の方法

期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

動物看護師

コンピューター実習 II

(授業概要)

本講義では、Microsoft Excel のデータベース機能と応用関数について学習し、基礎的なデータベースの管理と分析が行えるようになることを目的とする。また PowerPoint を用いて、基本的なプレゼンテーションスライド作成ができるようになることを目的とする。

科	動物看護師学科	教員	近澤優子
コース	VN2	教員の実務経験	×
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

1 学期

Microsoft Excel を使用して、データベース機能と応用関数を用いた管理と分析が行える。

2 学期

Microsoft PowerPoint を使用して、基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行える。

授業計画

- 1回 授業概要
- 2回 タイピング, Excel 基礎, 画面構成
- 3回 Excel1 年次復習 (1) 基本関数・表作成・グラフ
- 4回 Excel1 年次復習 (2) 基本関数・表作成・グラフ
- 5回 テーブル機能, 並び替え, フィルタ
- 6回 ピボットテーブル (1)
- 7回 ピボットテーブル (2)
- 8回 ピボットグラフ
- 9回 応用関数 (1); IF
- 10回 応用関数 (2); IF, AND, OR, 関数のネスト
- 11回 応用関数 (3); VLOOKUP, HLOOKUP
- 12回 応用関数 (4); 文字列操作関数
- 13回 条件付き書式, 入力規則
- 14回 課題 (1)
- 15回 前期復習
- 16回 確認テスト
- 17回 確認テスト振り返り (前期最終)

- 18回 後期授業概要, PowerPoint 概要 (後期初回)
- 19回 PowerPoint 基本操作, 画面構成, スライドショー
- 20回 テンプレート, 新規プレゼンテーションの作成, レイアウト
- 21回 テーマ設定, テキストの入力と編集
- 22回 フォント設定, 箇条書き, 行間の設定
- 23回 表の作成と編集 (1)
- 24回 表の作成と編集 (2)
- 25回 グラフとオブジェクト (1); グラフ・図形・SmartArt
- 26回 グラフとオブジェクト (2); 画像・ワードアート
- 27回 アニメーションと画面切り替え効果
- 28回 スライドショーの設定, サポート機能
- 29回 課題 (2)
- 31回 個人課題 I (1); テーマ設定・情報収集
- 32回 個人課題 I (2); プレゼンテーション作成
- 33回 個人課題 I (3); プレゼンテーション作成, リハーサル
- 34回 個人課題 I (4); 発表
- 35回 個人課題 I (5); 発表予備, 相互評価と振り返り (後期最終)

授業の方法

コンピューター演習

教材

教科書なし。参考資料を適時配布する。

評価の方法

授業中の取り組み態度 10%, 課題提出 40%, テスト 50%

授業外での学習方法

予習 1h, 復習 1h

実務経験と授業科目の関係

人と動物の関係学

(授業概要)

人と動物の関係について、その歴史と現在の状況について学ぶ。動物と暮らすことの恩恵、適切に関わるための知識（人と動物の福祉、動物介在介入、虐待等）についての理解を深め、動物看護師として社会の人々を支援できる力を育てる。

科	動物看護師	教員	中野 あや
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

1 学期

人と動物の関わり方の歴史と現在の状況について学び、ペットが人に与える影響について理解する。日本と欧米の動物の在り方について、その違いを説明できるようになる。

2 学期

動物介在介入について理解し、動物福祉の観点から活動を評価できるようになる。人と動物の福祉の観点について学び、適正飼育や虐待についての知識を深める。

授業計画

1 学期

- 1回 人と動物の関係学：ガイダンス
- 2回 なぜペットを飼うのか（4章－1）
- 3回 ペットの歴史と現状（4章－2）
- 4回 5/12 休講（課題）
- 5回 人と動物の関係の歴史（1章－1）
- 6回 動物と日本の文化①（1章－2）
- 7回 動物と日本の文化②（1章－2）
- 8回 日本と西洋の動物との関わり方の比較（1章－3）
- 9回 現代の動物の使用状況（2章－1）
- 10回 人の健康への動物の効果（2章－2）
- 11回 前期試験
- 12回 前期試験返却、解答
- 13回 動物介在活動の定義と歴史①（3章－1）
- 14回 学校飼育動物の現状（3章－3）
- 15回 動物介在行動を実施するために①（3章－2）

- 16回 動物介在行動を実施するために②（3章—2）
- 17回 動物虐待の定義と背景（5章—1）
- 18回 動物の役割（使役場面、高齢者、子供）と虐待（4章—5）
- 19回 学校飼育動物の目的と実際（3章—3）
- 20回 ペットと幸せに暮らすために（4章—3）
- 21回 エキスポに参加する動物たちについて考える（計画）
- 22回 インターンシップ休講
- 23回 インターンシップ休講
- 24回 エキスポに参加した動物たちについて考える（結果）
- 25回 ペットの現状について復習（4章-1,2）
- 26回 ペットへの愛着と依存（4章—4）
- 27回 ペットロス（4章—5）
- 28回 動物虐待の対処と法規制（5章—2,3）
- 29回 多頭飼育問題、高齢化による飼育困難（5章—4,6）
- 30回 ベテリナリーソーシャルワーク（5章—7）
- 31回 後期の復習
- 32回 後期試験
- 33回 後期試験返却、解答
- 33回 人と動物の関係学：総括
- 35回 課題

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻、資料動画

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

参考図書を紹介

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり

動物外科看護学

(授業概要、目的)

動物病院の手術時、もしくは外科分野において、動物看護師の役割を理解し、必要な知識、技術を習得し、現場で滞りなく、動けるようにする。

科	動物看護師学科	教員	西野 貴行
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35 × 4時間

目標

1 学期

手術チームでの動物看護師の役割と準備、術前準備、麻酔、鎮静処置、術中補助・術後管理について理解し、現場で動けるようになる。

2 学期

縫合材料と縫合法、外科器具、創傷管理と包帯法、救急救命法について理解し、現場で動けるようになる。

授業計画

- 1回 手術チームにおける動物看護師の役割、手術室に入る。
- 2回 手指の消毒法
- 3回 手の拭き方
- 4回 ガウンとグローブの装着法
- 5回 術前検査と術前手続き、手術準備室と手術室の準備
- 6回 動物の術前準備、麻酔の準備
- 7回 手術時のポジショニング、消毒の準備
- 8回 術野の消毒法、ドレープの装着
- 9回 麻酔あるいは鎮静処置時における動物看護師の役割、適応とリスク、特有の問診
- 10回 麻酔あるいは鎮静処置前に実施される検査、注射麻酔・鎮静に関わる手技
- 11回 吸入麻酔に関わる手技、導入時のリスクと対処、麻酔監視項目
- 12回 麻酔記録の作成法
- 13回 術中、術直後、術後動物看護の役割と必要な動物看護援助
- 14回 縫合材と手術器具
- 15回 直接補助と間接補助を行う動物看護師
- 16回 直接補助の業務、間接補助の業務

- 17回 縫合糸の分類、特徴
- 18回 縫合糸のサイズ、一般的な縫合糸の種類と特徴
- 19回 縫合糸の包装、縫合糸の代替品縫合糸の選択基準
- 20回 縫合針、一般的な縫合法
- 21回 一般的な手術器具と使用法、手術器具セット
- 22回 成形外科器具とその使用法、歯科器具の名称と使用法
- 23回 手術器具の手入れ方法とその維持管理、滅菌準備
- 24回 手術器具の滅菌、代表的な医療機器
- 25回 創傷の分類
- 26回 手術後の創傷管理
- 27回 ドレッシング法実施時の創傷管理
- 28回 包帯法、褥瘡の予防
- 29回 生命兆候のアセスメント
- 30回 動物の呼吸を楽にする姿勢
- 31回 循環管理
- 32回 保温
- 33回 止血法
- 34回 気管内挿管
- 35回 心肺蘇生処置・その他の救急救命処置に関わる状態

授業の方法

2コマ座学、2コマ実習の予定です。適宜グループワーク、手術を入れる。

教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8巻

評価の方法

期末試験50%（実技）、授業態度50%

授業外での学習方法

レポート

実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護師ゼミ演習

(授業概要)

1 年生で学んだことの復習や鳥類等の小型動物に関する基礎知識の学習など、愛玩動物看護師国家試験へ向けた対策を行う。一部をホームルームや特別講義実施のための枠として活用する。

科	動物看護師学科	教員	楠本
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35 時間

目標

1 学期

1 年次に学習した犬・猫の日常的な健康管理について科目横断的な復習を行い、実習の場で活用できる水準に達する。さらに、内科診療の対象となりえるエキゾチックアニマルの看護について、基礎素養を身につける。また、後期から取り組むインターンシップ実習へ向け、臨床の場で学ぶべき知識・手技を知る。

2 学期

国家試験へ向けた対策を進める。また、各種イベント等へ向けたホームルームの時間とする。

授業計画

- 1回 オリエンテーション
- 2回 内科看護に係る1年次の復習①
- 3回 内科看護に係る1年次の復習②
- 4回 内科看護に係る1年次の復習③
- 5回 内科看護に係る1年次の復習④
- 6回 エキゾチックアニマルの看護①
- 7回 エキゾチックアニマルの看護②
- 8回 エキゾチックアニマルの看護③
- 9回 エキゾチックアニマルの看護④
- 10回 1年生範囲復習試験
- 11回 試験フィードバック
- 12回 インターンシップ制度の紹介
- 13回 インターンシップ中の自己研鑽
- 14回 インターンシップに向けた事前学習①
- 15回 インターンシップに向けた事前学習②
- 16回 インターンシップに向けた事前学習③
- 17回 前期試験
- 16回 試験フィードバック
- 17回 前期試験振り返り

- 18回 インターンシップに向けた事前学習④
- 19回 学習成果発表会へ向けた展示企画の立案
- 20回 学習成果発表会へ向けた展示企画の準備①
- 21回 学習成果発表会へ向けた展示企画の準備②
- 22回 学習成果発表会へ向けた展示企画の準備③
- 23回 インターンシップ準備
- 24回 一斉インターン（課題作成）①
- 25回 一斉インターン（課題作成）②
- 26回 作成課題のフィードバック①
- 27回 作成課題のフィードバック②
- 28回 小テスト・フィードバック①
- 29回 小テスト・フィードバック②
- 30回 小テスト・フィードバック③
- 31回 小テスト・フィードバック④
- 32回 後期試験
- 33回 試験フィードバック
- 34回 後期学習の振り返り
- 35回 1年間の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、実習、グループワーク

きょうざい
教材

動物看護実習テキスト、ファームプレス、自作プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護総合実習

(授業概要)

実際の動物診療施設で診療業務に参加し、学内で学んだ内容を統合する。また、診療施設の概要や機能について学ぶとともに、獣医師、動物看護師との連携や顧客対応を通じ、愛玩動物看護師としての役割や責任を理解する。

科	動物看護師学科	教員	稲元、楠本、北川
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	70時間

目標

- 1学期 後期の一斉インターンへ向け、動物病院等の基礎情報について自主学習に取り組む
- 2学期 実際の動物診療施設での診療業務に参加し、その成果をレポートとして整理報告することができる

授業計画

- 1～7回 インターン実習1日目(日誌・レポート)
- 8～14回 インターン実習2日目(日誌・レポート)
- 15～21回 インターン実習3日目(日誌・レポート)
- 22～28回 インターン実習4日目(日誌・レポート)
- 29～35回 インターン実習5日目(日誌・レポート)
- 36回 レポート回収・フィードバック

授業の方法

実習

教材

なし

評価の方法

試験評価(実習レポート、実習先からの評価シート)80%、実習日誌20%

授業外での学習方法

特になし

実務経験と授業科目の関係

あり

グルーミング概論・実習Ⅱ

(授業概要)

チャンプ犬のグルーミングの意義を理解し、グルーミング技術及び保定技術の向上を目指す。

1人1頭完璧にグルーミングをこなせるようになる。

中型・大型犬種のグルーミング、保定技術を学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	白瀬 貴子
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×4コマ

目標

1学期

1日で1人1頭グルーミングをこなす。

チワワ→90分、パピヨン・ダックス→105分でベーシックが行えるようにする。

時間を意識しながら犬に負担がかからない保定技術を習得する。

2学期

ベーシックマスターライセンスの取得を目指す。

全体で時間を計り各自で時間配分を意識し実習を行う。

授業計画

- 1回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 2回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 3回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 4回 グルーミング実習（2～3人で1頭）
- 5回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 6回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 7回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 8回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 9回 グルーミング実習（2人で1頭）・モデルグルーミング（飛節・手根球下カット）
- 10回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 11回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 12回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 13回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 14回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 15回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 16回 グルーミング実習（1人で1頭）

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 17回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 18回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 19回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 20回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 21回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 22回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 23回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 24回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 25回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 26回 | グルーミング実習・ライセンス試験 (2回に分けて行う) |
| 27回 | グルーミング実習・ライセンス試験 (2回に分けて行う) |
| 28回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 29回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 30回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 31回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 32回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 33回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 34回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |
| 35回 | グルーミング実習 (1人で1頭) |

授業の方法

ブリーダー犬、一般犬を用いての実技実習

教材

グルーミングマニュアル

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

動物医療コミュニケーション I

(授業概要)

動物業界に適した思いやりを基本とし、院内コミュニケーション、電話対応、受付業務を身に着け、様々な場面において対応できる技術を身につける

科	動物看護師学科	教員	田中
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

1学期

状況に応じた会話、行動、飼い主対応ができる
日常の健康管理に関わる飼い主教育について学ぶ

2学期

日常の健康管理に関わる飼い主教育について学ぶ
院内コミュニケーション、電話対応、受付業務を正確に対応できる

授業計画

1学期

- 1回 授業の説明、自己紹介
- 2回 クライアントエデュケーション
- 3回 接遇とホスピタリティ
- 4回 マナーについて
- 5回 敬語
- 6回 フィラリア予防
- 7回 ノミダニ予防
- 8回 実践
- 9回 狂犬病予防接種
- 10回 混合ワクチン (犬)
- 11回 混合ワクチン (犬)
- 12回 混合ワクチン (猫)
- 13回 混合ワクチン (猫)
- 14回 実践
- 15回 避妊去勢手術

- 16回 実践
- 17回 前期復習
- 18回 前期試験
- 19回 試験返却
- 20回 減量指導①
- 21回 減量指導②
- 22回 実践
- 23回 受付業務①
- 24回 受付業務②
- 25回 実践
- 26回 看護ゼミ一斉実習
- 27回 看護ゼミ一斉実習
- 28回 デンタルケア
- 29回 マイクロチップ
- 30回 飼い主様向けパンフレット作り①
- 31回 飼い主様向けパンフレット作り②
- 32回 後期復習
- 33回 後期試験
- 34回 試験返却、解説
- 35回 ペットロス、グリーフケア

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

実習先での対応の仕方を記録し、まとめる

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物疾病看護学 A

(授業概要)

動物看護臨床学の総論を学ぶとともに、各論として消化器疾患、内分泌疾患、神経・整形外科疾患についての具体化した知識を習得するとともに、治療に関する必要な処置を理解し、チーム医療の一員として適切な看護を提供する方法を修得する。

科	生命科学科	教員	松嶋 周一
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	105

目標

1 学期

動物看護の基礎知識、動物看護過程、呼吸器疾患、循環器疾患についての、機序や治療を学習し、獣医師をサポートする動物看護師としての役割を理解する。

2 学期

消化器疾患、内分泌疾患、神経・整形外科疾患についての、機序や治療を学習し、獣医師をサポートする動物看護師としての役割を理解する。さらに、事例に基づく動物看護過程の展開について学び、実践時の基本的能力を養う。

授業計画

- 1回 動物看護臨床学総論・基礎知識
- 2回 動物看護臨床学総論・動物看護過程
- 3回 動物看護臨床学総論・健康期
- 4回 動物看護臨床学総論・急性期・回復期
- 5回 動物看護臨床学総論・慢性期・終末期
- 6回 呼吸器疾患の動物看護Ⅰ・呼吸器疾患とは・症状
- 7回 呼吸器疾患の動物看護Ⅱ・診察診断・治療
- 8回 呼吸器疾患の動物看護Ⅲ・肺炎・肺水腫・胸水・犬伝染性気管支炎・猫の上部起動疾患
- 9回 呼吸器疾患の動物看護Ⅳ・気管虚脱・短頭種気道症候群・猫喘息・肺腫瘍
- 10回 循環器疾患の動物看護Ⅰ・循環器疾患とは・症状
- 11回 循環器疾患の動物看護Ⅱ・診察診断・治療
- 12回 循環器疾患の動物看護Ⅲ・うっ血性心不全・僧帽弁閉鎖不全症・動脈管開存・心室中隔欠損
- 13回 循環器疾患の動物看護Ⅳ・犬糸状虫症・拡張型心筋症・肥大型心筋症・心室性不整脈
- 14回 消化器疾患の動物看護Ⅰ・消化器疾患・症状
- 15回 消化器疾患の動物看護Ⅱ・診察診断・治療
- 16回 前期復習

- 17回 前期試験
- 18回 前期試験返却、解答・解説
- 19回 消化器疾患の動物看護Ⅲ・猫の歯肉口内炎・歯周病・巨大食道症・胃炎・胃拡張捻転症候群
- 20回 消化器疾患の動物看護Ⅳ・パルボウイルス感染症・炎症性腸疾患・腸リンパ管拡張症・肝炎
- 21回 内分泌疾患の動物看護Ⅰ・内分泌疾患とは・症状
- 22回 内分泌疾患の動物看護Ⅱ・診察診断・治療
- 23回 内分泌疾患の動物看護Ⅲ・糖尿病・低血糖症・甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症
- 24回 内分泌疾患の動物看護Ⅳ・副腎皮質機能亢進症・副腎皮質機能低下症・高カルシウム血症
- 25回 V2 一斉インターンシップ実習
- 26回 V2 一斉インターンシップ実習
- 27回 神経・整形外科疾患の動物看護Ⅰ・神経・整形外科疾患とは・症状
- 28回 神経・整形外科疾患の動物看護Ⅱ・診察診断・治療
- 29回 神経・整形外科疾患の動物看護Ⅲ・水頭症・特発性てんかん・ウォブラー症候群
- 30回 神経・整形外科疾患の動物看護Ⅳ・馬尾症候群・神経系腫瘍・膝蓋骨脱臼・前十字靭帯断裂
- 31回 事例に基づく動物看護過程の展開Ⅰ・右後肢断脚術を実施後急性期の動物看護
- 32回 事例に基づく動物看護過程の展開Ⅱ・前十字靭帯断裂犬の術後回復期の動物看護
- 33回 後期復習
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却、解答・解説

授業の方法

講義、問題演習

教材

インターズー「認定動物看護師コアカリキュラム 2019 準拠 臨床動物看護学 3 動物臨床看護学各論」
イラストでみる犬の病気、イラストでみる猫の病気

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

動物看護学で得た机上の知識を、ATH ゼミで実務されている先輩看護師と照らし合わせて、勉学にフードバックする。

実務経験と授業科目の関係

あり

動物疾病看護学 B

(授業概要)

皮膚疾患、免疫介在性疾患、眼疾患、生殖器系疾患、泌尿器系疾患、および腫瘍性疾患の基本的な病態生理の知識を学び、治療に関する必要な処置を理解し、チーム医療の一員として適切な看護を提供する方法を修得する。

科	生命科学科	教員	松嶋 周一
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	70

目標

1 学期

皮膚疾患、造血器・免疫介在性疾患についての、機序や治療を学習し、獣医師をサポートする動物看護師としての役割を理解する。

2 学期

眼疾患、生殖器系疾患、泌尿器系疾患、腫瘍性疾患についての、機序や治療を学習し、獣医師をサポートする動物看護師としての役割を理解する。さらに、統一動物看護認定試験対策も実施する。

授業計画

- 1回 ガイダンス・感染症・免疫介在性疾患・皮膚疾患とは
- 2回 皮膚疾患：膿皮症、脂漏症、アトピー性皮膚炎、天疱瘡
- 3回 皮膚疾患：ノミアアレルギー性皮膚炎、好酸球性肉芽腫、食物アレルギー
- 4回 皮膚疾患：外耳炎、疥癬、耳ヒゼンダニ症
- 5回 皮膚疾患：毛包虫症、皮膚糸状菌症、マラセチア皮膚炎、メラノーマ
- 6回 造血器・免疫介在性疾患：バベシア、腎性貧血、血友病
- 7回 造血器・免疫介在性疾患：FIP、FeLV、FIV
- 8回 造血器・免疫介在性疾患：免疫介在性溶血性貧血、ネギ中毒、リンパ腫
- 9回 造血器・免疫介在性疾患：白血病、肥満細胞腫
- 10回 眼疾患：結膜炎、角膜炎、乾性角結膜炎
- 11回 眼疾患：角膜潰瘍、ブドウ膜炎 緑内障、白内障、核硬化症
- 12回 眼疾患：流涙症、チェリーアイ 異所性睫毛
- 13回 生殖器疾患：潜在精巣、前立腺炎 前立腺肥大
- 14回 生殖器疾患：子宮蓄膿症、偽妊娠、異常分娩、膣脱、犬ブルセラ症、乳腺炎、乳腺腫瘍
- 15回 泌尿器系疾患：急性腎障害、慢性腎臓病、腎盂腎炎
- 16回 前期復習
- 17回 前期試験

- 18回 前期試験返却、解答・解説
- 19回 泌尿器系疾患：蛋白喪失性腎炎、尿路感染症
- 20回 泌尿器系疾患：尿石症、膀胱炎、猫下部尿路疾患
- 21回 泌尿器系疾患：尿道閉塞症、レプトスピラ症、排尿障害
- 22回 腫瘍疾患とは
- 23回 担がん動物の看護Ⅰ：がん診断の基礎知識
- 24回 担がん動物の看護Ⅱ：主要疾患に対する治療
- 25回 V2 一斉インターンシップ実習
- 26回 V2 一斉インターンシップ実習
- 27回 担がん動物の看護Ⅲ：栄養管理・疼痛管理
- 28回 緊急疾患：交通事故、感電、熱傷、熱中症
- 29回 緊急疾患：中毒、誤飲、ショック、アナフィラキシー
- 30回 腫瘍・緊急疾患のまとめ
- 31回 動物看護統一認定試験対策Ⅰ
- 32回 動物看護統一認定試験対策Ⅱ
- 33回 後期復習
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却、解答・解説

授業の方法

講義、問題演習

教材

インターズー「認定動物看護師コアカリキュラム 2019 準拠 臨床動物看護学 3 動物臨床看護学各論」
イラストでみる犬の病気、イラストでみる猫の病気

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

動物看護学で得た机上の知識を、ATH ゼミで実務されている先輩看護師と照らし合わせて、勉学にフードバックする。

実務経験と授業科目の関係

あり

動物病理学

(授業概要)

病気とは何かについて理解するとともに、各疾患の原因や成り立ち、経過を理解する。そして、動物の病気を動物の体の内側から理解し、適切な看護方針の立案に寄与できる動物看護師の育成を目指す。

科	生命科学科	教員	松嶋 周一
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

1 学期

生体反応と病気の成り立ち、生体の回復力、細胞や組織に生じる変化を学び、理解する。

2 学期

増殖と修復、循環障害、炎症、免疫、腫瘍、及び先天性疾患を学び、具体的な疾患の病理メカニズムを理解する。

授業計画

- 1回 ガイダンス・第1章 病理学とは
- 2回 第2章 生体反応と病気の成り立ち ①病気の原因
- 3回 第2章 生体反応と病気の成り立ち ②バイタルサイン
- 4回 第3章 生体の回復力 ①ホメオスタシス・神経系
- 5回 第3章 生体の回復力 ②ホメオスタシス・内分泌系
- 6回 第3章 生体の回復力 ③ホメオスタシス・免疫系
- 7回 第4章 細胞や組織に生じる変化 ①細胞傷害・細胞の変化
- 8回 第4章 細胞や組織に生じる変化 ②壊死とアポトーシス
- 9回 第4章 細胞や組織に生じる変化 ③萎縮と低形成
- 10回 第5章 増殖と修復 ①細胞の増殖と組織の変化・化生
- 11回 第5章 増殖と修復 ②組織の修復と治癒
- 12回 第5章 増殖と修復 ③創傷治癒・骨折の治癒
- 13回 第6章 循環障害 ①血液循環とリンパ液循環・水腫
- 14回 第6章 循環障害 ②充血とうっ血・出血と止血
- 15回 前期復習
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却、解答・解説
- 18回 第6章 循環障害 ③DIC・血栓・塞栓・虚血・梗塞・ショック

- 19回 第7章 炎症 ①炎症の原因と役割
- 20回 第7章 炎症 ②五大主徴
- 21回 第7章 炎症 ③炎症の経過と治癒
- 22回 第7章 炎症 ④炎症に関わる細胞とケミカルメディエーター
- 23回 第7章 炎症 ⑤急性炎症
- 24回 V2 一斉インターンシップ実習
- 25回 V2 一斉インターンシップ実習
- 26回 第7章 炎症 ⑥慢性炎症
- 27回 第8章 免疫 ①免疫反応
- 28回 第8章 免疫 ②抗体産生
- 29回 第9章 腫瘍 ③免疫応答の異常（アレルギー）
- 30回 第9章 腫瘍 ①細胞の増殖分化とその異常
- 31回 第9章 腫瘍 ②腫瘍の定義と分類、転移
- 32回 第10章 先天異常 遺伝的要因・環境要因
- 33回 後期復習
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却、解答・解説

授業の方法

講義、問題演習

教材

ファームプレス「第3巻 動物看護コアテキスト 動物の疾病と予防および回復 第2版、動物病理学」、
文栄堂「獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠『病理学』 動物病理学総論 第3版」、EDUWARD
press 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 動物病理学

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

自分や家族が病気に罹患した経験を具体化し、病学的変化を客観的に理解するように努める。

実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護学実習

(授業概要)

愛玩動物看護師として働く自覚をもつ。

看護視点を意識して、看護動物に合わせた看護計画・実践を行う。

科	動物看護師学科	教員	梶 芙美子
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	70

目標

1 学期

臨床現場における愛玩動物看護師としての身だしなみ・意識の定着
衛生管理意識の定着

2 学期

看護動物の状態を理解し、看護動物に合わせた入院管理ができる

授業計画

1 学期

- 1回 オリエンテーション（看護実習における看護師意識の定着）
- 2回 身だしなみ・衛生管理 1（医療廃棄物・バイオハザードマーク）
- 3回 衛生管理 2（感染）
- 4回 衛生管理 3（消毒）
- 5回 衛生管理 4（院内清掃・スタンダードプリコーション）
- 6回 衛生管理 5（隔離管理・ゾーニング）
- 7回 インターン（仮）
- 8回 インターン（仮）
- 9回 診療記録（動物看護記録）
- 10回 入院管理 1（看護過程・アセスメント）
- 11回 入院管理 2（手続き・入院舎選択）
- 12回 入院管理 3（排泄・衛生管理）
- 13回 入院管理 4（食事管理）

2 学期

- 14回 動物看護管理・前期復習
- 15回 前期試験
- 16回 前期試験返却/復習・安全衛生管理（目標設定）
- 17回 栄養管理 1（栄養素・食性）

- 18回 栄養管理2（給餌）
- 19回 栄養管理3（栄養状態の評価）
- 20回 栄養管理4（食事指導）
- 21回 インターン（仮）
- 22回 栄養管理5（経管栄養法1 看護計画）
- 23回 栄養管理6（経管栄養法2 看護実践）
- 24回 食事指導1（ライフステージ別食事管理）
- 25回 食事指導2（疾患別食事管理・療法食）
- 26回 褥瘡管理1（褥瘡とは）
- 27回 褥瘡管理2（看護過程・計画）
- 28回 褥瘡管理3（看護過程・実践）
- 29回 後期復習
- 30回 後期試験
- 31回 後期試験・返却・復習
- 32回 安全衛生管理（年間看護目標振り返り/評価）
- 33回 緊急対応
- 34回 疾病別看護1
- 35回 疾病別看護2

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

座学・実習・グループワーク

きょうざい 教材

エドワードプレス・自作プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、しゅつぶつ 提出物 10%、じゅぎょうたいど 授業態度10%、

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

テキストの予習・復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

臨床現場で実施している内容の反映・自身の体験を提供。

動物繁殖学

(授業概要)

犬猫の繁殖に関わる形態機能を学び、妊娠・分娩、および新生子管理を習得する。特に、繁殖に関わる内分泌（ホルモン）の働き、および発情のメカニズムを理解するとともに、繁殖における遺伝学を学ぶ。

科	生命科学科	教員	松嶋 周一
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

1 学期

犬・猫の繁殖器官、卵子および精子形成を理解する。

2 学期

生殖機能調節に関わるホルモン、発情徴候と発情周期、妊娠と受精、遺伝子と器官発生、先天異常を理解する。

授業計画

- 1回 ガイダンス・生殖とその分類
- 2回 雄犬（猫）の繁殖器官
- 3回 雌犬（猫）の繁殖器官
- 4回 卵子形成・卵胞と黄体・排卵①
- 5回 卵子形成・卵胞と黄体・排卵②
- 6回 卵子形成・卵胞と黄体・排卵③
- 7回 精子形成①
- 8回 精子形成②
- 9回 生殖機能調節に関わるホルモン①
- 10回 生殖機能調節に関わるホルモン②
- 11回 生殖機能調節に関わるホルモン③
- 12回 発情徴候と発情周期①
- 13回 発情徴候と発情周期②
- 14回 発情徴候と発情周期③
- 15回 妊娠と受精①
- 16回 前期復習
- 17回 前期試験
- 18回 前期試験返却、解答・解説

- 19回 妊娠と受精②
 20回 妊娠と受精③
 21回 分娩
 22回 遺伝子と器官発生①
 23回 遺伝子と器官発生②
 24回 去勢・不妊手術
 25回 V2 一斉インターンシップ実習
 26回 V2 一斉インターンシップ実習
 27回 新生子の解剖生理学① 胎子循環
 28回 新生子の解剖生理学② 新生児の生殖器
 29回 新生子の先天性異常（奇形）①視診で発見される先天性疾患
 30回 新生子の先天性異常（奇形）②成長につれて発見される先天性疾患Ⅰ
 31回 新生子の先天性異常（奇形）③成長につれて発見される先天性疾患Ⅱ
 32回 新生子の生理的機能① 体温・肺・消化・排便排尿、初乳・溶血
 33回 後期復習
 34回 後期試験
 35回 後期試験返却、解答・解説

授業の方法

講義、演習問題

教材

インターズー 基礎動物看護学 1 「動物繁殖学」、ファームプレス 動物看護コアテキスト 2 巻 動物のからだの構造と機能 第2版 「第11章 子どもをつくる」、EDUWARD press 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻 動物繁殖学

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

特になし

実務経験と授業科目の関係

あり

動物薬理学

(授業概要)

代表的な薬物の体内動態、作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。さらに、薬物の用語・単位や投与量の計算方法を身に着ける。

科	生命科学科	教員	松嶋 周一
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位数	70

目標

1 学期

薬理作用、薬物動態、投与方法を理解するとともに、薬物の投与量の計算方法を身に着ける。

2 学期

各種疾患に対する薬物の薬理作用を理解するとともに、各種薬剤の種類を把握する。

授業計画

- 1回 ガイダンス・薬理学とは
- 2回 薬物の取り扱い
- 3回 単位・用語・計算問題
- 4回 薬理学の基礎：薬理作用
- 5回 薬理学の基礎：薬物動態・投与方法
- 6回 薬理学の基礎：副作用
- 7回 神経系に作用する薬剤：麻酔薬
- 8回 神経系に作用する薬剤：鎮痛薬
- 9回 神経系に作用する薬剤：鎮静と抗けいれん薬
- 10回 呼吸器系に作用する薬物
- 11回 循環器に作用する薬物：降圧薬
- 12回 循環器に作用する薬物：強心薬、泌尿器に作用する薬物
- 13回 消化器に作用する薬物：制吐薬と抗潰瘍薬
- 14回 前期復習
- 15回 前期試験
- 16回 前期試験返却、解答・解説
- 17回 消化器に作用する薬物：止瀉薬と瀉下薬
- 18回 消化器に作用する薬物：肝疾患治療薬

- 19回 オータコイドとは①
- 20回 オータコイド②レニン・アンジオテンシン
- 21回 代謝・内分泌の薬物：糖尿病と甲状腺障害治療薬
- 22回 代謝・内分泌の薬物：ステロイドホルモン
- 23回 V2 一斉インターンシップ実習
- 24回 V2 一斉インターンシップ実習
- 25回 血液・免疫系に作用する薬物：抗貧血薬と止血薬
- 26回 血液・免疫系に作用する薬物：抗炎症薬
- 27回 血液・免疫系に作用する薬物：免疫抑制薬
- 28回 化学療法薬：消毒薬・殺虫薬
- 29回 化学療法薬：抗菌薬
- 30回 化学療法薬：抗真菌薬
- 31回 化学療法薬：抗蠕虫薬
- 32回 後期復習
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返却、解答・解説
- 35回 化学療法薬：抗原虫薬、抗腫瘍薬

授業の方法

講義、問題演習

教材

ファームプレス「第3巻 動物看護コアテキスト 動物の疾病と予防および回復 第2版、動物薬理学」、
コンパニオン・アニマルのファースト・ステップ薬理学、EDUWARD press 愛玩動物看護師カリキュラム
準拠教科書2巻 動物薬理学

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

身近に接する医薬品の成分や薬理作用にアンテナを張り巡らし、注意深く確認する。

実務経験と授業科目の関係

あり

臨床動物看護学

(授業概要)

チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解し、動物看護過程の展開により看護動物に応じた看護が行えるようになる。

科	生命科学科	教員	梶 芙美子
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	70

目標

1 学期

動物看護過程の理解・診療記録への記載ができる。

2 学期

ライフステージ・看護動物の状態に合わせた動物看護過程の展開ができる。

授業計画

1 学期

- 1回 チーム医療の理解・看護師の役割
- 2回 クリティカルパス作成
- 3回 臨床における動物の QOL の重要性
- 4回 QOL：痛みのメカニズム
- 5回 QOL：痛みの管理
- 6回 看護過程とは1
- 7回 インターン（仮）
- 8回 インターン（仮）
- 9回 動物看護過程2（アセスメント）
- 10回 動物看護過程3（看護診断）
- 11回 動物看護過程4（看護計画）
- 12回 動物看護過程5（看護実践・評価）

13回 診療記録

2 学期

- 14回 前期復習
- 15回 前期試験
- 16回 前期試験返却/復習・動物看護業務（若齢期1）
- 17回 動物看護業務（若齢期2）

- 18回 動物看護業務（老齢期1）
- 19回 動物看護業務（老齢期2）
- 20回 動物看護業務（急性期）看護過程（アセスメント・計画）
- 21回 インターン（仮）
- 22回 動物看護業務（急性期）看護過程（実践・評価）
- 23回 動物看護業務（回復期）看護過程（アセスメント/計画）
- 24回 動物看護業務（回復期）看護過程（実践・評価）
- 25回 動物看護業務（慢性期）看護過程（アセスメント・計画）
- 26回 動物看護業務（慢性期）看護過程（実践・評価）
- 27回 動物看護業務（終末期・ターミナルケア）
- 28回 動物看護業務（在宅医療・グリーフケア）
- 29回 動物看護業務（看取り・エンゼルケア）・後期復習
- 30回 後期試験
- 31回 後期試験返却・復習
- 32回 医療者グリーフケア・グループワーク
- 33回 ペットロス
- 34回 医療者グリーフケア
- 35回 事例検証 看護展開

授業の方法

座学・実習・グループワーク

教材

エドワードプレス・自作プリント

評価の方法

期末試験80% 提出物 10% 授業態度10%

授業外での学習方法

テキストの予習・復習

実務経験と授業科目の関係

臨床現場で見られる内容を反映・自身の体験を提供。

動物栄養学 II

(授業概要)

栄養や食事病や病的症状の直接的原因となるケースは多い。肥満、食物アレルギー、尿石症などの疾患と食餌の関連性を中心に授業を進める。

科	生命科学科	教員	松嶋
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

1 学期

犬と猫の接食行動、尿石症および慢性腎症の食事管理

2 学期

肥満、皮膚・アレルギー疾患、消化器系、肝疾患、糖尿病、心血管系、高脂血症、骨関節、口腔、担癌、救急等の食事管理

授業計画

- 1回 犬と猫の接食行動 I
- 2回 犬と猫の接食行動 II
- 3回 犬と猫の接食行動 III
- 4回 尿石症の食事管理 I
- 5回 尿石症の食事管理 II
- 6回 尿石症の食事管理 III
- 7回 慢性腎臓病の食事管理 I
- 8回 V3一斉インターンシップ実習
- 9回 V3一斉インターンシップ実習
- 10回 慢性腎臓病の食事管理 II
- 11回 慢性腎臓病の食事管理 III
- 12回 肥満の食事管理 I
- 13回 肥満の食事管理 II
- 14回 皮膚・アレルギー疾患の食事管理 I
- 15回 前期復習
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却、解答・解説
- 18回 皮膚・アレルギー疾患の食事管理 II

- 19回 消化器系の食事管理
- 20回 肝疾患Ⅰの食事管理
- 21回 肝疾患の食事管理Ⅱ
- 22回 糖尿病の食事管理Ⅰ
- 23回 糖尿病の食事管理Ⅱ
- 24回 心血管疾患の食事管理
- 25回 高脂血症の食事管理
- 26回 骨関節の食事管理
- 27回 口腔疾患の食事管理
- 28回 担癌の食事管理
- 29回 救急時の食事管理
- 30回 栄養と免疫Ⅰ
- 31回 栄養と免疫Ⅱ
- 32回 クリティカルケア時の栄養Ⅰ
- 33回 後期復習
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却、解答・解説

授業の方法

講義、問題演習

教材

ヒルズ製品による食事管理の手引き、ROYAL CANIN プロダクトブック 2022

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

栄養学で得た知識を基に、自身のペットのフードの内容を確認する。

実務経験と授業科目の関係

動物に対する栄養学の知識は、顧客のペットの食への懸念を解決するための、重要なコミュニケーション手段になる

動物医療コミュニケーションⅡ

(授業概要)

クライアントエデュケーション、インフォームドコンセントについて理解、提供できるようになる。
動物病院内の事務的分野の理解、トラブル時の対応について学ぶ

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35時間

目標

前期

動物の健康管理の為に必要な情報を提供できるようになる。

コミュニケーション能力の強化を行い、実際に動物病院で行われている実践に近づけていく

後期

指導を主体としたインフォームドコンセントについて理解する。

院内業務について理解し、医療スキル以外の仕事についても理解を深めていく

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 コミュニケーション能力1
- 3回 コミュニケーション能力2
- 4回 ヒヤリハット
- 5回 獣医療面接を用いた事前問診の方法1
- 6回 獣医療面接を用いた事前問診の方法2
- 7回 インターン
- 8回 インターン
- 9回 獣医療面接を用いた事前問診の方法3
- 10回 獣医療面接を用いた事前問診の方法4
- 11回 獣医療面接を用いた事前問診の方法5
- 12回 獣医療面接の技法を用いた具体的な対応1
- 13回 獣医療面接の技法を用いた具体的な対応2
- 14回 獣医療面接の技法を用いた具体的な対応3
- 15回 試験前復習
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却
- 18回 クライアントエデュケーション1
- 19回 クライアントエデュケーション2

20回	クライアントエデュケーション3
21回	クライアントエデュケーション4
22回	クライアントエデュケーション5
23回	インフォームドコンセント1
24回	インフォームドコンセント2
25回	チーム獣医療1
26回	チーム獣医療2
27回	動物病院マネージメント1
28回	動物病院マネージメント2
29回	動物病院マネージメント3
30回	ペット保険について
31回	後期試験
32回	後期試験返却
33回	国家試験対策
34回	課題
35回	課題

授業の方法

座学、グループワーク

教材

EDUWARD Press 8

評価の方法

期末試験80%（レポート含む）、出席率20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

動物看護師

動物愛護・適正飼養学実習

(授業概要)

愛玩動物の効用や飼養目的などを理解し、適正飼養の推進について指導する

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	70時間

目標

前期

適正飼養について、病院で行われる教室について学ぶ

後期

適正飼養について、教室を開催し指導できるようになる

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 挨拶、発声、姿勢、身だしなみ
- 3回 適正飼養指導1 (パピークラス)
- 4回 適正飼養指導2
- 5回 適正飼養指導3
- 6回 適正飼養指導4
- 7回 適正飼養指導5
- 8回 適正飼養指導6
- 9回 終末期ケア1
- 10回 終末期ケア2
- 11回 終末期ケア3
- 12回 グリーフケア・ペットロス1
- 13回 グリーフケア・ペットロス2
- 14回 グリーフケア・ペットロス3
- 15回 実技試験
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却
- 18回 問題行動・しつけ指導1
- 19回 問題行動・しつけ指導2
- 20回 問題行動・しつけ指導3
- 21回 問題行動・しつけ指導4

- 22回 問題行動・しつけ指導 5
 23回 問題行動・しつけ指導 6
 24回 災害危機管理指導 1
 25回 災害危機管理指導 2
 26回 災害危機管理指導 3
 27回 パピークラス開催 発表
 28回 しつけ教室開催 発表
 29回 実技試験
 30回 後期筆記試験
 31回 後期試験返却
 32回 国家試験対策
 33回 国家試験対策
 34回 課題
 35回 課題

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
 教材

EDUWARD Press 1 0 動物

ひょうか ほうほう
 評価の方法

きまつしけん
 期末試験80%（実技試験含む）、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

動物看護師

動物看護学概論

(授業概要)

クライアントエデュケーション、インフォームドコンセントについて理解、提供できるようになる。
動物病院内の事務的分野の理解、トラブル時の対応について学ぶ

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35時間

目標

前期

獣医療の歴史、動物看護の目的、概念について理解を深める

後期

愛玩動物看護師の職務範囲、資格認定機関などについて理解する

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 獣医療の歴史・倫理
- 3回 獣医療の歴史・倫理
- 4回 動物看護の歴史
- 5回 動物看護の歴史
- 6回 動物看護の概念
- 7回 インターン
- 8回 インターン
- 9回 動物看護の概念
- 10回 国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い
- 11回 動物看護理論
- 12回 動物看護理論
- 13回 動物看護理論
- 14回 動物看護理論
- 15回 動物看護理論
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却
- 18回 認定動物看護師の誕生
- 19回 愛玩動物看護師の誕生
- 20回 愛玩動物看護師の誕生

21回	愛玩動物看護師の職能団体
22回	動物看護とは
23回	動物看護とは
24回	動物看護における倫理
25回	動物看護における倫理
26回	動物の福祉・健康・QOL
27回	動物の福祉・健康・QOL
28回	動物病院における動物看護師の役割
29回	動物病院における動物看護師の役割
30回	総復習
31回	後期試験
32回	後期試験返却
33回	国家試験対策
34回	課題
35回	課題

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
教材

EDUWARD Press 4

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%（レポート点含む）、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

動物看護師

適正飼養指導論

(授業概要)

愛玩動物の効用や飼養目的などを理解し、適正飼養の推進、災害時の危機管理、動物愛護管理行政のしくみについて理解する

科	動物看護師学科	教員	石原 昌代
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	70時間

目標

前期

適正飼養がさす内容を理解し、指導できるようになる。

家族への終末期ケアについて、グリーフケア、ペットロスの概要、心情を理解し、必要な支援を行える

後期

適切な飼養方法としつけ、災害時のガイドラインについてその指導ができるようになる

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 狂犬病・5つの自由より
- 3回 狂犬病・5つの自由より
- 4回 愛玩動物飼養の現状
- 5回 愛玩動物飼養の現状
- 6回 動物から受ける影響と問題点
- 7回 インターン
- 8回 インターン
- 9回 動物から受ける影響と問題点
- 10回 動物終末期ケア
- 11回 動物終末期ケア
- 12回 動物医療グリーフケア
- 13回 動物医療グリーフケア
- 14回 ペットロス
- 15回 ペットロス
- 16回 前期試験
- 17回 前期試験返却
- 18回 適正飼養の推進
- 19回 適正飼養の推進

20回	動物取扱業における適正飼養
21回	動物取扱業における適正飼養
22回	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策
23回	問題行動・しつけ・指導方法
24回	問題行動・しつけ・指導方法
25回	問題行動・しつけ・指導方法
26回	災害危機管理と支援
27回	災害危機管理と支援
28回	動物愛護管理行政
29回	動物愛護管理行政
30回	後期試験
31回	後期試験返却
32回	国家試験対策
33回	国家試験対策
34回	課題
35回	課題

授業の方法

座学、グループワーク

教材

EDUWARD Press 1 0

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

動物看護師

ペット関連産業概論

(授業概要)

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ

科	動物看護師学科	教員	橋本 梨花
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

1 学期

動物病院以外のペット関連産業や法律の現状について理解をする

2 学期

- 動物取扱業について理解をする
- 動物病院でも作成をするチラシを作成できるようになる

授業計画

1 学期

- 1回 ペットビジネスとは/スタッフに求められること
- 2回 ペットビジネスに該当する職業（全体）
- 3回 ペットビジネスに該当する職業（サービス業）
- 4回 ペットビジネスに該当する職業（販売）
- 5回 ペットビジネスに該当する職業（その他）
- 6回 ペット関連産業の広がり与伦理観
- 7回 ペット関連法規の概要①
- 8回 ペット関連法規の概要②
- 9回 ペットの飼育実態
- 10回 ペット産業の市場規模
- 11回 ペット関連産業の現状（動物病院）
- 12回 ペット関連産業の現状（サービス業）
- 13回 ペット関連産業の現状（生体販売）
- 14回 前期まとめ
- 15回 前期試験

- 16回 前期試験返却
- 17回 動物取扱業制度の概要①
- 18回 動物取扱業制度の概要②
- 19回 動物取扱業制度の概要③
- 20回 売上の成り立ちについて
- 21回 客数・客単価
- 22回 売上を上げるためのディスプレイの基本①
- 23回 売上を上げるためのディスプレイの基本②
- 24回 ディスプレイやPOPで影響する「色」について
- 25回 POPやチラシの作成について（商品POP）
- 26回 商品POP実践
- 27回 商品POP実践
- 28回 POPやチラシの作成について（イベントPOP）
- 29回 イベントPOP実践
- 30回 イベントPOP実践
- 31回 後期の復習
- 32回 後期試験
- 33回 後期試験返却、解答
- 34回 1年のまとめ
- 35回 課題

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実践

きょうざい
教材

エデュワードプレス愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻

ひょうか ほうほう
評価の方法

しまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護師ゼミ演習Ⅱ

(授業概要)

動物内科看護学を学ぶ。

本科目は、資格対策と併せて開講する

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×4時間

目標

1 学期

動物内科看護学の外来と入院看護に必要な知識と技術について理解する。

2 学期

動物内科看護学の検査に必要な知識と技術について理解する。

授業計画

1 学期

- 1回 自己紹介、授業について
- 2回 健康の保持・増進
- 3回 診療補助・検査・処置に必要な技術
- 4回 注射器の取扱い管理方法 採血・採尿・穿刺・吸引の目的・方法
- 5回 各種カテーテル挿入・酸素吸入。マイクロチップ挿入にかかわる技術
- 6回 投薬にかかわる技術①
- 7回 投薬にかかわる技術②
- 8回 投薬にかかわる技術③
- 9回 一斉インターン実習
- 10回 一斉インターン実習
- 11回 外用薬の使用法①
- 12回 外用薬の使用法②・薬浴の実施法
- 13回 輸液にかかわる技術①
- 14回 輸液にかかわる技術②
- 15回 輸血にかかわる技術①

2 学期

- 16回 輸血にかかわる技術②

- 17回 前期試験
- 18回 前期試験返却
- 19回 ここまでのまとめ
- 20回 心電図と血圧にかかわる技術①
- 21回 心電図と血圧にかかわる技術②
- 22回 X線検査①
- 23回 X線検査②
- 24回 超音波検査①
- 25回 超音波検査②
- 26回 CT/MRIにかかわる技術
- 27回 CT/MRIにかかわる技術
- 28回 内視鏡検査にかかわる技術
- 29回 神経学的検査にかかわる技術
- 30回 眼科検査にかかわる技術①
- 31回 眼科検査にかかわる技術②
- 32回 皮膚と耳の検査にかかわる技術
- 33回 皮膚と耳の検査にかかわる技術
- 34回 おさらい 試験について
- 35回 後期試験

授業の方法

座学

教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻（動物内科看護学）

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

特になし

実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護実習

(授業概要)

動物臨床看護学について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	70時間

目標

1 学期

代表的な各疾患について理解し、その疾患に準じた看護方法について理解する。

2 学期

主要な病態期に動物の状態を理解し、看護方法を理解する。

SOAP方式の看護記録を作成できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1回 授業について、代表的な兆候の理解と対処①
- 2回 代表的な兆候の理解と対処②・呼吸器疾患
- 3回 循環器疾患
- 4回 消化器疾患
- 5回 内分泌疾患
- 6回 血液疾患・免疫介在性疾患
- 7回 皮膚疾患
- 8回 一斉インターン
- 9回 一斉インターン
- 10回 感覚器疾患
- 11回 神経疾患・整形外科疾患
- 12回 排泄物生涯を伴う疾患
- 13回 生殖器疾患

2 学期

- 14回 胆がん動物の看護
- 15回 前期試験

- 16回 前期試験返却
- 17回 動物看護過程について①
- 18回 動物看護過程について②
- 19回 診療記録について①
- 20回 診療記録について②
- 21回 健康期の動物看護
- 22回 老齢期の動物看護①
- 23回 老齢期の動物看護②
- 24回 急性期の動物看護①
- 25回 急性期の動物看護②
- 26回 慢性期の動物看護①
- 27回 慢性期の動物看護②
- 28回 慢性期の動物看護③
- 29回 ターミナルケアと看取り
- 30回 動物看護計画実施①
- 31回 動物看護計画実施②
- 32回 動物看護計画実施③
- 33回 試験について
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験返却

授業の方法

座学・実習

教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20% (出席率、授業態度等)

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

動物臨床内科外科実習

(授業概要)

手術や各種検査時の愛玩動物看護師としてのスキルを学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	稲元・楠本
コース	動物看護特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	105時間

目標

1 学期

生体検査に必要な手技や機器の扱い方に習熟すると同時に、動物医療機関で実施される医療の現状を知り、それを紹介することができる。また、外科診療の補助に必要な、術前準備から術後管理までの流れを理解し、実習の機会ですそれを活かすことができる。

2 学期

外科診療の補助に必要な基礎知識を活用して実習に取り組み、これまでのカリキュラムで学んだ生体検査の知識を実践的に習得する。

授業計画

1 学期

- 1回 オリエンテーリング
- 2回 スケーリング・去勢手術・避妊手術手順
- 3回 手術・検査器具の操作
- 4回 昨年度行った手術・検査についての復習、確認①
- 5回 昨年度行った手術・検査についての復習、確認②
- 6回 昨年度行った手術・検査についての復習、確認③
- 7回 昨年度行った手術・検査のマニュアル作り
- 8回 一斉インターン（課題学習）
- 9回 一斉インターン（課題学習）
- 10回 各種診療施設における動物医療の調査・紹介①
- 11回 各種診療施設における動物医療の調査・紹介②
- 12回 各種診療施設における動物医療の調査・紹介③
- 13回 各種診療施設における動物医療の調査・紹介④
- 14回 前期の振り返り
- 15回 前期試験

- 16回 前期試験返却
- 17回 実習：愛玩動物の健康診断①
- 18回 実習：愛玩動物の健康診断②
- 19回 実習：愛玩動物の健康診断③
- 20回 実習：愛玩動物の健康診断④
- 21回 実習：愛玩動物の健康診断⑤
- 22回 実習：愛玩動物の健康診断⑥
- 23回 実習：愛玩動物の健康診断⑦
- 24回 実習：愛玩動物の健康診断⑧
- 25回 実習：愛玩動物の健康診断⑨
- 26回 実習：愛玩動物の健康診断⑩
- 27回 実習：愛玩動物の健康診断⑪
- 28回 実習：愛玩動物の健康診断⑫
- 29回 実習：健康診断結果の整理と活用
- 30回 実習：健康診断結果の適切な説明
- 31回 後期の振り返り
- 32回 後期試験
- 33回 試験のフィードバック
- 34回 後期の振り返り
- 35回 1年の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学・実習

きょうざい
教材

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書9巻

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20% (しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

資格対策

(授業概要)

第三回愛玩動物国家試験合格に向けて試験対策を行う。

本科目は、動物看護ゼミ演習IIと併せて開講する

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子・稲元 哲朗
コース	動物看護特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×4時間

目標

1学期

国家試験と同じ形式の5択の問題を多く説いて解説をする。

一人でも多く愛玩動物国家試験に受かるようにする。

小テストで、自分の実力弱点を見出し、対策をする。

2学期

より難易度の高い5択問題を一問でも多く回答し、解説し国家試験本番に備える。

授業計画

1回 授業について 国家試験対策問題試験・解説

2回 国家試験対策問題試験・解説

3回 国家試験対策問題試験・解説

4回 国家試験対策問題試験・解説

5回 国家試験対策問題試験・解説

6回 国家試験対策問題試験・解説

7回 国家試験対策問題試験・解説

8回 国家試験対策問題試験・解説

9回 一斉インターン実習

10回 一斉インターン実習

11回 国家試験対策問題試験・解説

12回 国家試験対策問題試験・解説

13回 国家試験対策問題試験・解説

14回 第1回 小テスト

15回 第1回 小テスト解説

16回 国家試験対策問題試験・解説 ポイント解説

- 17回 前期試験
- 18回 前期試験返却
- 19回 第2回 小テスト
- 20回 第2回 小テスト解説
- 21回 国家試験対策問題試験・解説
- 22回 国家試験対策問題試験・解説
- 23回 国家試験対策問題試験・解説
- 24回 国家試験対策問題試験・解説
- 25回 国家試験対策問題試験・解説
- 26回 国家試験対策問題試験・解説
- 27回 第3回 小テスト
- 28回 第3回 小テスト解説
- 29回 国家試験対策問題試験・解説
- 30回 国家試験対策問題試験・解説
- 31回 国家試験対策問題試験・解説
- 32回 国家試験対策問題試験・解説
- 33回 国家試験対策問題試験・解説
- 34回 国家試験対策問題試験・解説
- 35回 後期試験

授業の方法

座学

教材

Eduwards Press 愛玩看護師国家試験完全対策問題集 2024年度版

緑書房 愛玩看護師国家試験 完全攻略！問題&解説集 2024年度版など

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20% (出席率、授業態度等)

授業外での学習方法

放課後の小テスト・自主学習

実務経験と授業科目の関係

あり

動物行動学

(授業概要)

動物の診療及び看護に不可欠である動物の行動とコミュニケーションについて学ぶ。また行動を導くための学習理論について理解を深め、近年問題意識が高まっている犬と猫の問題行動について詳しく学び、その予防や初期対応を考える。

科	動物看護師学科	教員	中野 あや
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

1 学期

- 動物行動学の基礎として、維持行動、社会行動などの行動の発現と発達について理解する
- 犬と猫のコミュニケーション方法とその意味、発達について理解する

2 学期

- 行動を導くための学習理論について理解する
- 犬と猫の問題行動についての基礎を学び、臨床でよく出会う問題行動について理解を深める

授業計画

1 学期

- 1回 動物行動学とは・総論・5つの自由
- 2回 猫のコミュニケーション・猫の行動観察（猫使用）
- 3回 犬のコミュニケーション・犬の行動観察（犬使用）
- 4回 5/12 休講（課題）
- 5回 動物行動学の成り立ち・行動の進化と適応・家畜化
- 6回 維持行動の意味と効果
- 7回 群れの行動・哺乳類の生殖戦略。敵対行動と親和行動
- 8回 行動の発現と制御・行動の周期性
- 9回 行動の発達科学・社会化期
- 10回 行動に影響を与える要因：遺伝と環境
- 11回 前期試験
- 12回 前期試験返却、解答
- 13回 前期まとめ
- 14回 動物関係業種と行動学
- 15回 後期の総論：学習理論と行動治療

- 16回 学習理論①馴化・感作と脱感作・般化
 17回 学習理論②条件づけ・消去・行動形成
 18回 学習理論③行動形成と正の罰
 19回 問題行動とは・問題行動の関連因子
 20回 行動診療と治療の流れ
 21回 エキスポと動物行動学
 22回 学習理論の復習、行動学のビデオ視聴
 23回 行動診療の治療①刺激制御、行動修正法
 24回 行動診療の治療②その他の療法、行動と薬物
 25回 犬と猫の排泄トラブル
 26回 犬と猫の常同行動・転位行動
 27回 犬と猫の不安障害
 28回 犬と猫の攻撃行動
 29回 犬と猫のその他の問題行動
 30回 問題行動の予防・快適な環境
 31回 後期の復習
 32回 後期試験
 33回 後期試験返却、解答
 34回 1年のまとめ
 35回 課題

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

講義

きょうざい
 教材

講義資料、犬猫の動画、生体の観察

ひょうか ほうほう
 評価の方法

しまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%
 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

参考図書の紹介、休憩時間の質問対応

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

あり

動物看護総合実習

(授業概要)

実際の動物診療施設で診療業務に参加し、学内で学んだ内容を統合する。また、診療施設の概要や機能について学ぶとともに、獣医師、動物看護師との連携や顧客対応を通じ、愛玩動物看護師としての役割や責任を理解する。

科目	動物看護師学科	教員	稲元、楠本、北川
コース	動物看護師ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	70時間

目標

- 1 学期 実際の動物診療施設での診療業務に参加し、その成果をレポートとして整理報告することができる
- 2 学期 インターンでの学習内容を実践へと展開し、就職や国家試験対策に活用することができる

授業計画

- 1～34回 インターン実習1～10日目（日誌・レポート）
- 35回 インターン実習の振り返り（レポート作成・提出）

授業の方法

実習

教材

なし

評価の方法

試験評価（実習レポート、実習先からの評価シート）80%、実習日誌20%

授業外での学習方法

特になし

実務経験と授業科目の関係

あり

グルーミング概論・実習Ⅲ

(授業概要)

グルーミング技術及び保定技術の向上を目指す。
中型・大型犬種のグルーミング、保定技術を学ぶ。
全身バリカンの方法を理解し技術を身につける。

科	動物看護師学科	教員	草刈 祐子
コース	動物看護師特進ゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35×5 コマ

目標

1 学期

1 日で 1 人 1 頭グルーミングをこなす。
ベーシックマスターライセンス全員取得を目指す。
時間を意識しながら犬に負担がかからない保定技術を習得する。

2 学期

全身バリカンの技術を習得する
嫌がる犬の保定技術を身に付け、どんな犬でも扱えるようになる

授業計画

- 1 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 2 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 3 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 4 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 5 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 6 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 7 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 8 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 9 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス未取得者はライセンス形式で
- 10 回 ライセンス試験・グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 11 回 ライセンス試験・グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 12 回 ライセンス試験・グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 13 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 14 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 15 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 16 回 モデルグルーミング (全身バリカン)

- | | |
|-----|---------------------------|
| 17回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 18回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 19回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 20回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 21回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 22回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 23回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 24回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 25回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 26回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 27回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 28回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 29回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 30回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 31回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 32回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 33回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 34回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |
| 35回 | グルーミング実習・全身バリカン (1～2人で1頭) |

授業の方法

ブリーダー犬、一般犬を用いての実技実習

教材

グルーミングマニュアル

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

動物医療関連法規Ⅲ

(授業概要)

愛玩動物看護師及び愛玩動物看護師国家試験に必要な知識を身につけるために、主に獣医師法、獣医療法、愛玩動物看護師法及び各種関連法規について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	井田 竜馬
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35コマ

目標

1 学期

獣医師法、獣医療法、愛玩動物看護師法など獣医療に関係する法律を理解できるようになる。

2 学期

薬機法、麻薬取締法、廃棄物処理法など主に薬事衛生分野に関係する法律を理解できるようになるとともに、動物愛護法や狂犬病予防法についてはしっかりと復習し理解できるようにする。

授業計画

- 1回 法令の概要、犬猫飼育頭数など
- 2回 獣医師法 (1) 獣医師法の概要
- 3回 獣医師法 (2) 獣医師の任務、権利 (主に第 17 条飼育動物診療業務の制限)
- 4回 獣医師法 (3) 診療とは
- 5回 獣医師法 (4) 獣医師の義務 (無診察深慮の禁止)
- 6回 獣医師法 (5) 獣医師の義務 (応召義務、カルテの保存義務など)
- 7回 獣医師法 (6) 免許取消や罰則など
- 8回 愛玩動物看護師法 (1) 法の概要
- 9回 愛玩動物看護師法 (2) 業務内容

- 10回 愛玩動物看護師法（3）欠格事由など
- 11回 前期復習
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・開設
- 14回 獣医療法（1）法の概要
- 15回 獣医療法（2）飼育動物診療施設の開設など
- 16回 獣医療法（3）獣医療に関する広告制限その1
- 17回 獣医療法（4）獣医療に関する広告制限その2
- 18回 身体障害者補助犬法（1）法の概要
- 19回 身体障害者補助犬法（2）身体障害者補助犬の定義
- 20回 身体障害者補助犬法（3）アクセスの保証など
- 21回 薬機法（1）法の概要
- 22回 薬機法（2）劇薬と毒薬の保管など
- 23回 麻薬取締法 麻薬の保管、麻薬施用者制度など
- 24回 廃棄物処理法（1）法の概要
- 25回 薬機法（2）医療廃棄物の定義、バイオハザードマークなど
- 26回 後期復習
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却、解説
- 29回 外来生物法
- 30回 ワシントン条約、ラムサール条約
- 31回 動物愛護法の復習（1）
- 32回 動物愛護法の復習（2）
- 33回 狂犬病予防法の復習（1）
- 34回 狂犬病予防法の復習（2）
- 35回 3年総復習

授業の方法

講義

教材

テキスト、自作のプリント

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

幼齢・高齢ケア

(授業概要)

幼齢犬・高齢犬の健康管理、ケア、介護（老犬）、またオーナー様へのケアなど、看護師として実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	稲岡・楠本
コース	動物看護師	教員の実務経験	○
対象年次	3年	年間単位時間	35

目標

1 学期

老齢犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものをイメージできるようになる。老齢犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

2 学期

幼齢犬の基礎健康管理を学び、どのように対応していくのかを学び、月齢における注意点などを学び、家庭での対応方法、オーナー様への説明など学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

授業計画

- 1回 授業の説明、老齢犬について①
- 2回 老齢犬について②、老齢犬の身体的トラブル①
- 3回 老齢犬の身体的トラブル②
- 4回 老齢犬の身体的トラブル③
- 5回 老齢犬の身体的トラブル④
- 6回 老齢犬の身体的トラブル⑤
- 7回 介護①
- 8回 介護②
- 9回 介護③
- 10回 介護④
- 11回 老齢犬のオーナーケア①
- 12回 老齢犬のオーナーケア②
- 13回 老齢犬のオーナーケア③
- 14回 老齢犬のオーナーケア③
- 15回 今後の老犬とその家族とのかかわり方を考える
- 16回 前期試験

- 17回 前期試験返却、解答・解説
- 18回 パピー・キトン期についての概要
- 19回 パピー・キトン期の飼育管理①
- 20回 パピー・キトン期の飼育管理②
- 21回 パピー・キトン期の飼育管理③
- 22回 予防できる感染症
- 23回 注意すべきズーノーシス
- 24回 健康管理①
- 25回 健康管理②
- 26回 シニアキャットの概要
- 27回 シニアキャットの健康管理①
- 28回 シニアキャットの健康管理②
- 29回 シニアキャットの病気
- 30回 シニアキャットの治療
- 31回 シニアキャットの看護
- 32回 後期の振り返り
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返却、解答・解説
- 35回 1年間の振り返り・総括

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり